

芥川賞作家「絲山秋子」原作の話題作品
『逃亡くそたわけ - 21才の夏』
主演の吉沢悠さんが九州5館の舞台挨拶に出席

監督の本橋圭太さんほか、ばってん城次さん・中島浩二さんがMCとして登壇

株式会社シネハウス(住所:東京都新宿区、代表取締役:牧 義寛)は、芥川賞作家「絲山秋子」原作の映画『逃亡くそたわけ-21才の夏』の10月6日からの九州先行公開を記念し、6日、7日に九州ワナー・マイカル・シネマズ5館にて舞台挨拶を実施いたしました。

『逃亡くそたわけ-21才の夏』は、若手注目株の女優「美波」演じる躁病の【花ちゃん】と、絶大な演技力が定評の本格派俳優「吉沢悠」演じる鬱病の【なごやん】の二人が、入院していた精神病院から逃亡し博多から鹿児島までの各地域を車(ルーチェ)で旅しながら、主人公のころ(脳)の葛藤と共に人々や社会との関わり合いなどを通じて、様々なことを感じとっていく九州を舞台にした<ROCKな>ロードムービーです。同映画は、既に「第13回宮崎映画祭」のオープニング上映作品に続き、韓国の「第11回プジョン国際ファンタスティック映画祭」、「アジアフォーカス・福岡国際映画祭2007」と、日本のみならず海外においても多くの映画祭関係者から高評価をいただいております。

同映画の九州先行公開に際し、主演の吉沢悠さん、監督の本橋圭太さんに加え、6日にばってん城次さん、7日に中島浩二さんと九州地区で活躍しているお二人がMCとして登場し、ワナー・マイカル・シネマズ福岡ルクルを含む5館にて舞台挨拶を実施いたしました。熊本では、タクシー運転手役で出演のばってん城次さんがMCとして登壇し、「ばってん、ばってん。」と熊本弁で会場を盛り上げ、主演の吉沢さんも「非常に温かく迎えていただきありがとうございます。」と感謝の言葉を述べるなど、満席の会場のお客様は大変な喜び様でした。また、福岡では、田中麗奈さんと登場し、やくざ風の男役を務めた中島浩二さんがMCとして登壇。福岡で有名な中島浩二さんとあって、各会場とも非常に盛り上がりとなりました。吉沢悠さんは「撮影のスタートであった福岡は、ことのほか思い出の場所です。」と語り、また監督の本橋さんは「ぜひ多くの方に劇所に足を運んでいただき、本作を楽しんでもらいたい。」と公開に関する想いを述べるなど、10月20日からの全国公開に先駆け、会場は満席となったお客様で大変な盛り上がりとなりました。



<本件に関するお問い合わせ>

『逃亡くそたわけ-21才の夏』PR事務局

(株)プラチナム 深澤、大沼 TEL:03-5572-6072 FAX:03-5572-6075

(株)シネハウス 宣伝・配給 柳沢、渡辺、岡野 TEL:03-5368-6690

<映画作品概要>

【作品概要】

作品名:『逃亡くそたわけー21才の夏』

製作・配給:シネハウス

公開表記:10月20日(土)より渋谷Q-AX他にて順次全国ロードショー

先行上映:10月6日(土)より、九州地区にて同時先行上映。

◇上映館◇

- ・ワーナー・マイカル・シネマズ戸畑(福岡)
- ・ワーナー・マイカル・シネマズ大野城(福岡)
- ・ワーナー・マイカル・シネマズ福岡ルクル(福岡)
- ・ワーナー・マイカル・シネマズ上峰(佐賀)
- ・ワーナー・マイカル・シネマズ熊本クレア(熊本)
- ・T・ジョイパークプレイス大分(大分)
- ・鹿児島ミッテ10(鹿児島)

2007年／日本／35ミリ／カラー／アメリカン・ヴィスタ／DTSステレオ／99分 ©2007シネハウス

【原作】

絲山秋子(芥川賞受賞作家)

【ストーリー】

**おんぼろ車で九州の田舎町を駆け抜ける、二人の前にひろがった暑い夏の物語。
「わたしの21才の夏は二度と来んちゃもん！だけん、逃げないかんとって！！」**

大学生の花ちゃんは、自殺未遂をはかり福岡タワーに近い精神病院(＝プリズン)に入院させられていた。" 亜麻布二十エレは上衣一着に値する " …低い男の声…意味はわからない。ただこの幻聴が聞こえると調子が悪くなるのだ。いてもたってもいられなくなり逃亡を企てる。道連れとなるのは、鬱で入院中の標準語しか話さない名古屋人、なごやん。後先考えず脱走してしまう二人…。なごやんの愛車ルーチェに乗って、博多から鹿児島までの珍道中が始まった。旅を続けるうちになごやんは「俺、自分のものさしが全部おかしくなった気がするよ」と阿蘇を前にそう思う。そんな旅の中で、二人は共感したり、陰悪になったり…紆余曲折はあるものの、ゆるりと癒されていく…。「日が暮れても彼女と歩いてた…気が触れても彼女と歩いてた…」
たどり着いた指宿(いぶすき)の知林ヶ島という砂州で地続きとなる島で、あり得ないはずのラベンダーの香りが一瞬漂う。その瞬間二人は何かを悟る。何てコトのない逃避行が、ここで一気に答えとなる。何を掴んだのか、明快な答えはない。だが、旅の持つ不思議な力が、二人の心へ何かを伝えたのだった。

【監督】

本橋圭太

大学卒業後テレビドラマの助監督を経て、1996年深夜ドラマ「Tokyo23区の女」で監督デビュー。その後、2時間ドラマや連続ドラマの監督として活動。2005年ゆうばり国際ファンタスティック映画祭に正式出品したショートフィルム「RED LINE」では監督以外に撮影にも挑戦。本作が、劇場用長編映画初監督作品となる。今、各メディアから最も注目される若手クリエイターの一人である。

【キャスト】

美波 (MINAMI)

1986年東京都生まれ。資生堂「マジヨリカ マジヨルカ」のCMで注目を浴びる。その後、雑誌モデルや編集、CM、映画監督など多彩な才能を発揮する。デビュー作映画「バトル・ロワイアル」(00)をはじめ「ユモレスク～逆さまの蝶～」(06)「さくらん」(07)等数々の映画に出演。舞台「転世薫風～テンセイクンプー～」(06)に出演、今年は蜷川幸雄演出の「エレンディア」に出演中。演技力が注目される若手女優である。

吉沢 悠 (HISASHI YOSHIKAWA)

1978年東京都生まれ。ドラマ「青の時代」(TBS)でデビュー。以降、ドラマ映画を中心に活躍を続ける。映画「星に願いを。」(03)では、視覚障害者、そして死者の生まれ変わりと難役に挑戦し、その演技力を確かなものとした。他に「クロスファイア」(00)、今年は佐々部清監督作品の「夕凧の街 桜の国」が公開中。ドラマ「山田太郎ものがたり」(TBS)にも出演中。

木下 ほうか

我修院 達也

榊 英雄

高良 健吾

中島 浩二

ガッツ石松

田中 麗奈(特別出演)

大杉 漣 他多数

【主題歌・挿入歌】

The ピーズ(キングレコード)・・・この6月 The ピーズのファンを題材にし、この作品「逃亡くそたわけー21 才の夏」の主題歌的な曲をタイトルとした、映画「日が暮れても彼女と歩いていた」が公開される。

また、6月9日 SHIBUYA-AX で開催された20周年記念ライブでは、1800人近い観客であふれ、大盛況となりました。

【NEWS】

- ・第13回宮崎映画祭オープニング上映作品
- ・第11回韓国・プチョン国際ファンタスティック映画祭正式招待作品
- ・アジアフォーカス・福岡国際映画祭 2007 正式招待作品